



2019年10月21日

各位

会社名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役社長 上田 満弘
(コード番号 3021 東証二部)
問合せ先 取締役副社長 大江正巳
(電話番号 03-5730-1442)

当社取締役会の実効性の分析・評価の結果について

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、2019年5月期を対象期間として、取締役会の実効性について分析・評価を行いました。
その結果の概要について下記にお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

- ① 実施時期 2019年9月
- ② 回答者 全取締役および監査役(社外役員含む計10名)
- ③ 実施要項 「取締役会評価に関する質問票」による無記名方式での評価
- ④ 質問事項
 - I. 取締役会の構成
 - II. 取締役会の運営
 - III. 取締役会の議題
 - IV. 取締役会を支える体制

また、「取締役会評価に関する質問票」においては、各取締役・各監査役より、当社取締役会の長所ならびに改善を検討すべき点に関するコメントや、その他自由な意見や提案を併せて求める形式を採用いたしました。

2. 前回(2018年)の取締役会評価結果における課題

前回の取締役会評価結果において、当社取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認いたしました。一方において、次の4つの事項について課題として認識しております。

- (1) 取締役会の現状の構成は適切ではあるが、構成員の性別やバックグラウンド等の面において一層の多様性の確保に努めること
- (2) 事前資料の更なる早期配布や内容の充実に取り組み、審議の一層の活性化を図ること
- (3) 指名・報酬委員会において、経営幹部の後継者計画にかかる議論を開始すること
- (4) 取締役・監査役に適合したトレーニングの機会を増やせるよう支援に取り組むこと

3. 今回(2019年度)の取締役会評価結果の概要

今回の取締役会評価結果においては、(1)取締役会の構成、(2)取締役会の運営、(3)取締役会の議題、(4)取締役会を支える体制の4つの項目全てについて評点が向上しており、一定の改善が見られたと考えております。

また、前回の評価の際の課題についての現状認識は以下の通りです。

- (1) 社外取締役の1名増員により取締役会の構成は改善されているが、構成員の性別やバックグラウンド等の面において一層の多様性の確保に努めていく必要がある。
- (2) 事前資料の更なる早期配布により事前検討の時間をさらに確保し、審議の一層の充

実・活性化を図る必要がある。

- (3) 指名・報酬委員会において、経営幹部の後継者計画にかかる議論を開始。さらに議論を深めていく必要がある。
- (4) 取締役・監査役に適合したトレーニング機会がまだ十分とは言えず、より一層増やしていくべく支援に取り組む必要がある。

4. 今後の取り組み

当社取締役会は、本結果を踏まえ、引き続き上記の課題に重点的に取り組むとともに、取締役会のより高い実効性の確保とその維持を図ってまいります。

また、取締役会の実効性に関する分析・評価は今後も継続的に実施するとともに、評価手法等の改善も検討してまいります。

<2019年取締役会評価結果>

前回（2018年度）回答：回答数 10名
今回（2019年度）回答：回答数 10名

